

事務事業名		高齢者救急医療情報キット設置事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5157	一般	3	1	3	高齢者救急医療情報キット設置事業					
	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業								
	任意的事業・義務的事業		任意的事業								
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	平成23年度～		年度	根拠法令 条例等	実施方法		直営		
	事業区分		事業分類		現金・現物給付事業						
	リーディングプロジェクト		該当なし								
	市長マニフェスト		2-9								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方が、自宅で具合が悪くなったときに、救急車や見守りを行う支援者を呼ぶ時など「もしも」の時に備え、かかりつけ医や飲んでる薬、病気など本人の医療情報を入れておく救急医療情報キットを自宅の冷蔵庫内に設置しておくことで、すみやかに適切な処置が可能となる。そのことで、高齢者が自宅で安心して生活して行くことができる。			平成23年度に県の補助をもらい、救急医療情報キットを12,000個作成し配布した。この中の配布残を一人暮らし高齢者及び高齢者世帯、さらに、日中独居となる高齢者で希望する方に配布を行った。また、災害時に支援が必要な障害者及び要介護者にも配布した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			救急医療情報キット設置数	世帯	574	629	600			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
一人暮らし高齢者、高齢者世帯の方、日中一人になる高齢者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			一人暮らし高齢者数	人	3,982	4,213	4,444			
			高齢者世帯数	世帯	3,757	4,027	4,297			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
緊急時にすみやかに適切な処置を行うことができる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			救急医療情報キットが救命活動などに活用された件数	件	24	14	20			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
高齢者が安心して自立した在宅生活を送ることができる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			在宅福祉サービス利用延べ人数	人	1,526	6,934	7,000			
			老人ホーム措置入所者数	人	44	44	50			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	正職員従事人数	人							
	のべ業務時間	時間								
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0			

事務事業名	高齢者救急医療情報キット設置事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方が毎年増えている状況の中、いろいろな見守りや安否確認を行う事業を行っているが、さらにメニューをそろえ、高齢者が安心して日常生活を送れるようにする必要があるため。また、平成23年度に限り県の補助が受けられることになったため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者には、できるだけ在宅で終末期を過ごしてもらおうという、国の基本方針がある。この考えは、さらに強まっていくことが予想される。そのため、今後さらに高齢者には安心して在宅で日常生活を送っていただくということが重要になってくる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議員より救急医療情報キット設置について検討してほしいという趣旨の一般質問があった。また、民生委員の中からも救急キットの配布を行なってほしいと要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 高齢者が安心して在宅での生活をしていくことができることは、豊かな長寿社会の実現には欠かせないものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 高齢者が安心して在宅で日常生活を送れるということは、高齢者福祉の基本の基本となる施策であり、市で行わなければならないと考えている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 高齢者が安心して、在宅での生活を送っていただくことが、究極の高齢者福祉であると考えられるので、本事業はそのための一つの施策であり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 民生委員により対象者に救急キットを配布し、設置及び記入の確認もしていただいている。また、高齢者実態調査等により、新たに一人暮らし高齢者又は高齢者世帯になった方を把握して配布しているため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 平成23年度に多めに作成したため、在庫がある。しばらくはこれにより対応が可能であり、事業費は0円である。人件費も、必要最小限の人件費であるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者は一人暮らし高齢者や、高齢者世帯の方である。 平成23年度に県費補助により本事業を実施し、現在の事業費は0円であるため受益者負担の必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 現在は在庫があるため、必要とする方に配布しているが、在庫がなくなった時点で、いったん本事業は休止とし、ほかにこの事業に代わるものがあるかないのかも含め、検討する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			